

## 環境にやさしい航路標識の整備

### 松前小島灯台ほか自然エネルギーの利用

#### 【施策の概要】

近年、地球温暖化の進行を初めとする地球環境問題は、人類最大の課題であると認識され、国際的な取組みが強化されている。

このような状況の下で、国は環境への負荷の低減、エネルギー利用の効率化等に率先して取組むことが求められているところである。

航路標識は、海上、離島、岬、岩礁、浅瀬等に設置されるため、商用電源の利用が困難な場所が多く、電源として化石燃料を使用した発動発電機や使い捨ての一次電池（政令で定められた有害物質を含むため処分する場所、特別管理産業廃棄物として処理を行っている）を多く使用していた。

これらを解消するため、航路標識用電源について、太陽光、風力、波力などの自然エネルギー化を進め、環境に配慮した航路標識整備を行い、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出削減、廃棄物の排出削減等によって地球環境の保全を図ると併に、ライフサイクルコストの低減を図る。

#### 【施策のポイント】

今後は、更なる自然エネルギーの利用を促進し、環境に配慮した航路標識の整備を進めます。

#### 【平成12年度実施箇所数】

314箇所

#### 【施策の実施状況・イメージ図】

